

AIMaP 研究集会等実施報告書

(Part 1/4) 名称・重点テーマ・キーワード等

項目	内容
名称	ものづくり企業に役立つ応用数理手法の研究会
採択番号	2019A018
重点テーマ	数理科学の産業応用
キーワード	ものづくり、数理科学、データサイエンス、AI
主催機関	日本応用数理学会ものづくり研究会
運営責任者	ロンドン大学 高田 章
開催日時(開始)	2019/12/05 13:20
開催日時(終了)	2019/12/05 16:30
開催場所	産業技術総合研究所 柏センター(千葉県柏市柏の葉)

(Part 2/4) 最終プログラム・参加者数

項目	内容
最終プログラム	13:20 柏センターメインビルディング前に集合 13:30-14:30 ABCI(AI 橋渡しクラウド)見学 14:30-16:15 ABCI の説明・事例紹介・意見交換 演者:九州大学マス・フォア・インダストリ研究所 教授 産総研 人工知能研究センター 特定フェロー 藤澤克樹 先生
参加者数	数学・数理科学:2人, 諸科学:0人, 産業界:26人, その他:0人

(Part 3/4) 論点・現状・今後の展開

項目	内容
当日の論点	日本応用数理学会応用数理ものづくり研究会では、隔月の頻度で数理シミュレーション分野及びデータサイエンス分野で活躍されている講師をお呼びして、研究会に参加しているものづくり企業メンバーとの間で、数理科学の産業応用の現状と今後の展望について議論している。今回は産業技術総合研究所柏センターで稼働し人工知能の研究・産業

[様式 1.3.]

	応用に利用されている ABCI 施設を見学した。その後、最先端の産業応用事例について講演会を開催し、産業応用に関する意見交換を行った。
研究の現状と課題(既にできていること、できていないことの切り分け)	各参加企業では現状、主として自社のコンピュータを利用 AI・データサイエンスの産業応用を実践している。しかしながら大規模なデータを取り扱える ABCI をまだ利用していない企業も多く、ABCI を利用するメリットや利用時の留意点に関する関心が非常に高かった。今回の見学・意見交換の結果、今後 ABI の利用あるいは大規模な AI・データサイエンスの産業応用を進めていく上での有益な情報を得ることができた。
新たに明らかになった課題	大規模な AI・データサイエンスの産業応用を進めていく上でどのような課題が最も適しているのか、またどのような手法やソフトウェアを利用していくかをさらに詰めていく必要がある。
今後解決すべきこと、今後の展開・フォローアップ	数理学分野の産業応用に関してはいろいろな分野や手法がある。研究会では引き続き、数理学分野の先端的な研究の情報を参加企業間で共有し実務に活かしていく予定である。

(Part 4/4) 写真

項目	内容
添付写真 1	

添付写真 2



添付写真 3

